

News Release

平成31年2月28日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
N I T E (ナ イ ト)
東 北 支 所

誤った使い方が火災の導火線に！ ～配線器具や充電ケーブルで火災、やけどが発生～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

2013年度から2017年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}では、配線器具^{※2}の事故は367件^{※3}ありました。

東北地方6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）では5年間に13件の事故が通知されています。

東北6県で発生した配線器具の事故13件のうち、軽傷事故が3件、拡大被害に至った事故が7件となっています。

また、充電ケーブルについては、全国で86件、東北6県では2件の事故が発生しており、東北の2件については軽症（やけど）と製品破損となっています。

表1 配線器具の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2013年度	0	1	0	0	0	0	1
2014年度	0	0	0	0	0	0	0
2015年度	2	0	1	0	0	0	3
2016年度	1	1	1	0	3	2	8
2017年度	0	1	0	0	0	0	1
合 計	3	3	2	0	3	2	13

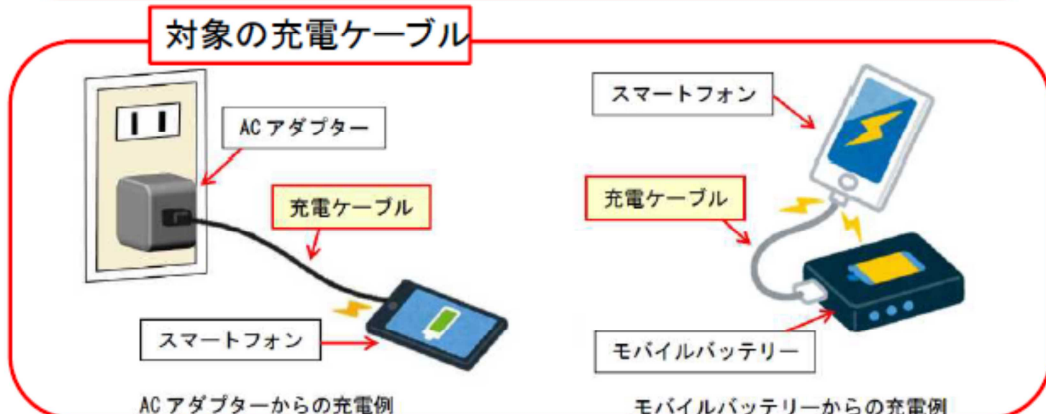
表2 配線器具の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	1	0	0	0	1	1	3
拡大被害	2	0	2	0	2	1	7
製品破損	0	3	0	0	0	0	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	3	2	0	3	2	13

表3 配線器具の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等にも問題があったもの	2	2	1	0	3	2	10
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0	0
い製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等にも問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E:誤使用や不注意によるもの	0	0	1	0	0	0	1
	F:その他製品に起因しないもの	1	0	0	0	0	0	1
G1、G2:原因不明のもの		0	0	0	0	0	0	0
H:調査中のもの		0	1	0	0	0	0	1
合計		3	3	2	0	3	2	13

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 延長コード、テーブルタップ及びマルチタップなど。
- (※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。



2. 主な事故事例

【配線器具】

○2017年3月1日（岩手県、年齢性別不明、製品破損）

事故内容:延長コードを使用中、異音がし、マルチタップの根元が断線した。

事故原因:プロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、プロテクター先端部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。

事業者は、2015年9月24日付けで新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品の回収及び返金を行っている。

○2017年2月11日（山形県、年齢性別不明、軽傷）

事故内容:延長コードをコンセントに差し込んだところ、マルチタップの根元が断線し、火花が出て火傷を負った。

事故原因:プロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、コードとの境界部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。

事業者は、2015年9月24日付けで新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品の回収及び返金を行っている。

○2016年8月27日（福島県、年齢不明男性、軽傷）

事故内容:延長コードを使用中、コードコネクターボディ付近から火花が出て、手の甲に火傷を負った。

事故原因:プロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、コードとの境界部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。

事業者は、2015年9月24日付けで新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品の回収及び返金を行っている。

○2016年4月4日（宮城県、80代女性、拡大被害）

事故内容:使用中の壁コンセントに接続した延長コード付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因:壁コンセントに延長コードの差込みプラグを長期間接続したまま放置していたため、接続部に埃等が蓄積し、トラッキング現象が生じて焼損したものと推定される。

○2015年12月1日（青森県、30代女性、軽傷）

事故内容:延長コード及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品のコードプロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低くなっていたこと及びプロテクター部の形状、肉厚の影響によりコードとの境界部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・短絡し、出火に至ったものと推定される。

事業者は、2015年9月24日付けで新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品の回収及び返金を行っている。

【充電ケーブル】

○2016年3月31日（宮城県、40代男性、軽傷）

事故内容:充電中の携帯電話機(スマートフォン)付近から出火して、周辺を焼損し、家人1人が火傷を負った。

事故原因:充電ケーブルのマイクロUSBコネクター内部で短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。

3. 配線器具、充電ケーブルの事故の実験映像について

配線器具、充電ケーブルの事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

東北地方で発生した配線器具の事故13件のうち、10件が同一原因による事故で、リコール告知されています！！

告知された後に発生した事故件数は、なんと9件 ..($\geq 0 \leq$)..

事故を未然に防ぐためにもリコール情報に敏感になることは大切です！
時々、リコール情報に目を向けてください。

リコール情報は、各事業者のホームページだけでなくNITEのホームページでも確認できます。



https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/recall_new/index4.html

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト
独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

